

地域の多様な子どもたちが
集まる学習塾を目指す



3匹のネコがいる学習塾「ベガサス明野教室」（大分市明野東）の教室長。フリースクールとそろばん塾を併設し、進学志望、不登校、発達障害と多様な小中学生が学ぶ。「自分で幸福感を持ってタフに生きていく人に育ってほしい」と、コミュニケーション力を養うプログラムを取り入れている。
演劇ワークショップはそのひとつ。入試に出題される国語の問題を基に台本を作って演じること

谷井 由実子さん（40）

も。自分を表現する場を設けることで、自己肯定感が高まり挑戦意欲につながった塾生もいた。

塾生との関わりを通して地域社会の姿も見えてきた。「他者とのつながりが薄れているのは子どもだけではない。大人も同じ」とみている。塾を起点に地域住民同士がつながる可能性を考え、今年は京都市に週末通って多様性社会をつくる実践法を学んだ。個人の活動として子ども食堂を今月から始める。「地域平和のためにできることをしたい」と志す。

高校生の時、学校の教室に入れなくなり、別室登校を続けた。卒業後はバーテンダーをしている父親の店に弟子入り。カクテル作りから接客まで学んだ。結婚後、夫が始めた学習塾を手伝うように。「高校で教室に入れなくなった時、先生たちが与えてくれたことを今度は自分がしたい」との思いで塾生と接する。出身地の大分市で夫、ネコと暮らす。
（渡辺美加）

ひととタフに生きる人に育って